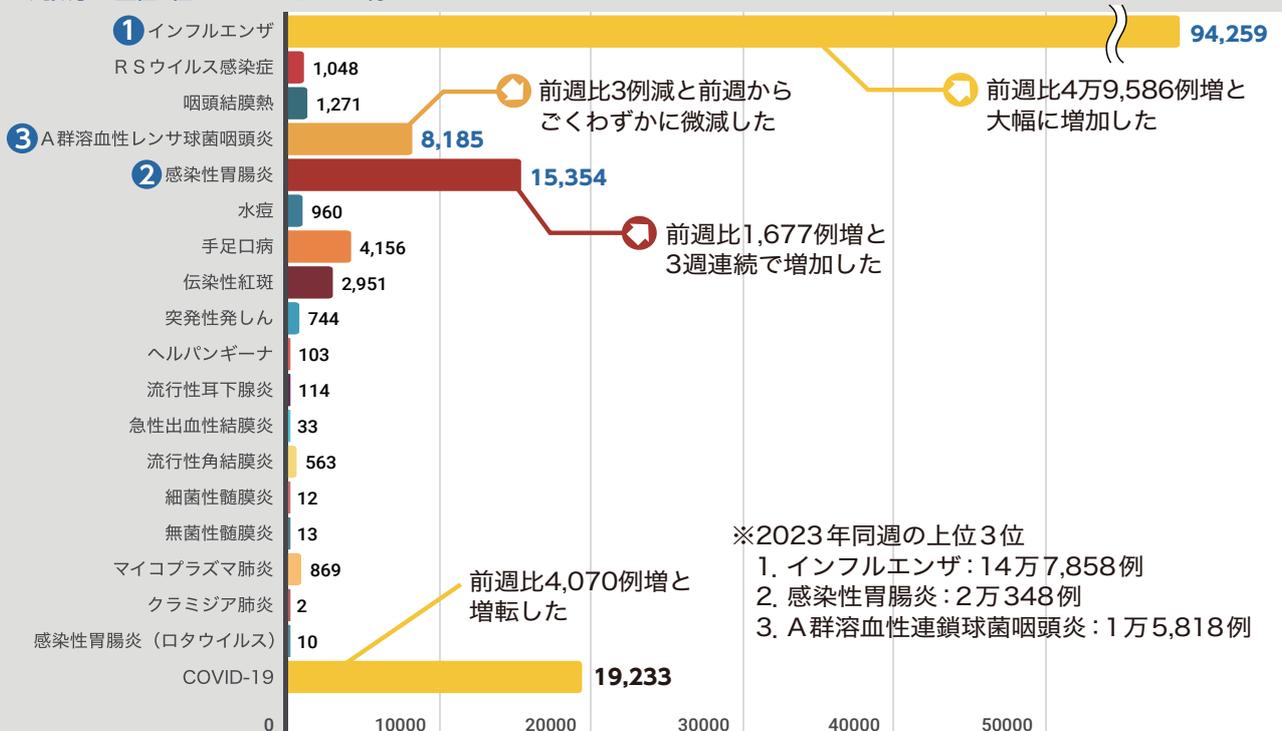




国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

インフル急増で9万例超え、コロナにも要注意

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



※2023年同週の上位3位
 1. インフルエンザ: 14万7,858例
 2. 感染性胃腸炎: 2万3,448例
 3. A群溶血性連鎖球菌咽頭炎: 1万5,818例

(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

①インフルエンザ

報告数

1. 神奈川県: 7,354例
2. 東京都: 7,256例
3. 福岡県: 7,009例

定点当たりの報告数(19.06)

- | | | | |
|----------------|---------------|---------------|----------------|
| 1. 大分県: 37.22 | 4. 愛媛県: 28.90 | 7. 愛知県: 23.82 | 10. 大阪府: 21.79 |
| 2. 福岡県: 35.40 | 5. 佐賀県: 28.55 | 8. 北海道: 22.58 | 11. 広島県: 21.79 |
| 3. 鹿児島県: 29.00 | 6. 千葉県: 24.49 | 9. 鳥取県: 21.97 | 12. 長野県: 21.55 |

②感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都: 1,530例
2. 神奈川県: 1,205例
3. 大阪府: 1,039例

定点当たりの報告数(4.89)

- | | | | |
|---------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 大分県: 11.19 | 4. 富山県: 8.31 | 7. 熊本県: 6.92 | 10. 東京都: 5.80 |
| 2. 石川県: 10.38 | 5. 宮崎県: 8.25 | 8. 群馬県: 6.75 | 11. 山口県: 5.77 |
| 3. 福井県: 9.36 | 6. 鳥取県: 7.32 | 9. 兵庫県: 6.08 | 12. 愛知県: 5.50 |

③A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

1. 東京都: 726例
2. 北海道: 666例
3. 福岡県: 539例

定点当たりの報告数(2.61)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 長崎県: 5.39 | 4. 山口県: 4.84 | 7. 新潟県: 4.31 | 10. 熊本県: 3.51 |
| 2. 宮崎県: 5.17 | 5. 茨城県: 4.56 | 8. 鳥取県: 3.63 | 11. 佐賀県: 3.50 |
| 3. 北海道: 4.86 | 6. 福岡県: 4.49 | 9. 大分県: 3.58 | 12. 高知県: 3.24 |

今週の感染症動向

インフルエンザは前週から5万例近く増加し、9万例を超えた。第47週(1万1,678例)以降、週を経るごとに指数関数的に増加し、定点当たり報告数は19.06と注意報レベル(10.00)をゆうに超える事態となった。地域別に見ると、大分県(37.22)と福岡県(35.40)は警報レベル(30.00)を超え、鹿児島県(29.00)、愛媛県(28.90)、佐賀県(28.55)もこれに迫っている。感染性胃腸炎は3週連続で増加。定点当たり報告数(4.89)は大分県(11.19)が最も高かった。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は第48週(8,101例)から横ばいの状態が続いている。伝染性紅斑は前週から51例の微増、マイコプラズマ肺炎は228例の減少となったが、いずれも例年よりかなり多い状況が続いている。COVID-19は3週連続で増加し、2万例に近づいた。前年と同様の傾向を示しており、年明けの爆発的な流行が懸念される。